

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	地球観測システム構築推進プラン		担当部局庁	研究開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～平成22年度		担当課室	環境エネルギー課		環境エネルギー課長 田口 康		
会計区分	一般会計		施策名	X-3 環境・海洋分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第三期科学技術基本計画(平成18年閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球上で起こっている様々な現象をより正確に把握し、その原因を探り、影響を予測して、対策に貢献すべく、地球の状態の監視・予測に重要な観測研究を推進して、全球地球観測システム(GEOSS)構築に貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第3回地球観測サミット(2005年)において策定された「全球地球観測システム(GEOSS)構築のための10年実施計画」に基づき、地球の状態を継続的に監視し、地球システムに関する予測を改善する上で優先度が高いとされる領域に関し、我が国が先導すべき技術革新や、リーダーシップを発揮すべき国際観測ネットワークの形成にターゲットを絞り、開発研究及び観測研究を推進。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	373	354	35			
	執行額	372	352	34				
	執行率(%)	99.7%	99.4%	97.3%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	定量的な成果目標を設定することは困難(全球地球観測システム(GEOSS)構築に貢献する観測技術の開発及び国際観測ネットワークを構築することが成果目標であるため)		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施課題数		活動実績 (当初見込み)	課題	5	5	2 (2)	— (—)
単位当たり コスト	17(百万円/課題)		算出根拠	平成22年度執行額/平成22年度実施課題数				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				※平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、所期の目的を達成したことから、平成22年度をもって終了することとした。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	—	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	—		

文部科学省
34百万円

委員等旅費 0.07百万円
諸謝金 0.03百万円
職員旅費 0.02百万円
を含む

各事業の企画、立案、進捗
状況管理、指導等

【公募・委託】

A.
(独)海洋研究
開発機構
16百万円

大気汚染ガス(オ
ゾンとその前駆ガ
ス)とエアロゾルの
同時・長期観測
ネットワークを確立

【公募・再委託】

C.
名古屋大学
3百万円

共同研究機関とし
て、担当分の研究を
実施。

【公募・委託】

B.
千葉大学
18百万円

エアロゾル・雲・放
射の各要素を統
合的に観測するシ
ステム(SKYNET)
を構築

※公募はいずれも文部科学省による。
【公募・再委託】

D.
(独)産業技術総合
研究所等
(全3機関)
3百万円

共同研究機関とし
て、担当分の研究を
実施。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(独)海洋研究開発機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	外国旅費	5			
	消耗品費	2			
	雑役務費(学会参加、論文投稿)	1			
	その他(国内旅費、諸謝金、通信運搬費等)	1			
間接経費	直接経費の30%を措置	4			
委託費	共同研究	2			
設備備品費	観測装置等	1			
計		16	計		0
B.千葉大学			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当者	6			
業務実施費	雑役務費(維持管理費等)	2			
	国内旅費(研究運営委員会等)	1			
	外国旅費(研究・調査)	1			
	その他(消耗品費、諸謝金、通信運搬費等)	2			
間接経費	直接経費の30%を措置	3			
委託費	共同研究	3			
計		18	計		0
C.名古屋大学			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	解析計算装置	1			
業務実施費	その他(消耗品費、雑役務費(論文投稿)等)	1			
間接経費	直接経費の30%を措置	1			
計		3	計		0
D.(独)産業技術総合研究所			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	人件費、国内旅費等	1			
計		1	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 海洋研究開発機構	大気汚染ガス(オゾンとその前駆ガス)とエアロゾルの同時・長期観測ネットワークを確立	16	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千葉大学	エアロゾル・雲・放射の各要素を統合的に観測するシステム(SKYNET)を構築	18	企画競争	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	名古屋大学	アジア域観測データの全球化学・エアロゾル輸送モデルによる解析・解釈	3	企画競争	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 産業技術総合研究所	SKYNETサイトにおけるエアロゾル直接観測のサンプリング・計測システムの統一	1	企画競争	—
2	独立行政法人 国立環境研究所	SKYNET/ライダーネットワークの構築と運用	1	企画競争	—
3	一般社団法人 沖縄県溶接協会	SKYNET宮古島観測サイトの維持・運用	1	企画競争	—